

新生つるおか 活力創造予算

〈未来への確かな一歩を〉

令和8年度予算を、市政の再構築と未来への投資を両立させる「新生つるおか活力創造予算」と位置付けました。「新たな活力と価値の創造」と「行財政改革の取り組みと健全化」を両輪に、持続可能なまちづくりを本格的に始動させます。

「新たな活力と価値の創造」では、開設25周年を迎える慶應先端研との連携や、ユネスコ食文化創造都市としての発信力を強化するほか、国内外からの観光誘客に積極的に取り組むなど、

世界から注目される鶴岡の魅力を磨き上げます。また、0歳から2歳児までの保育料を所得制限なしで無償化します。若者や女性に選ばれるまちの実現、そして誰もが住み続けたいと思える環境づくりを強力に推進します。

一方で、将来にわたって健全な財政を維持するため、事務事業の徹底した見直しにも着手しました。「行財政改革の取り組みと健全化」として、これまで踏み込めなかった事業課題に真剣に向き合い、優先順位を明確

にした結果、財源不足の改善への兆しが見えてきました。

近年の賃金上昇や物価高騰等により、公共施設の維持管理費も増大しています。安定的な行政サービスを継続するため、本年10月から公共施設等の使用料の改定を実施します。市民の皆様にはご負担をお掛けしますが、ご理解をお願いします。

令和8年度を、「市民が未来を描ける鶴岡」の実現に向けた確かな一歩とし、着実に市政を前進させてまいります。

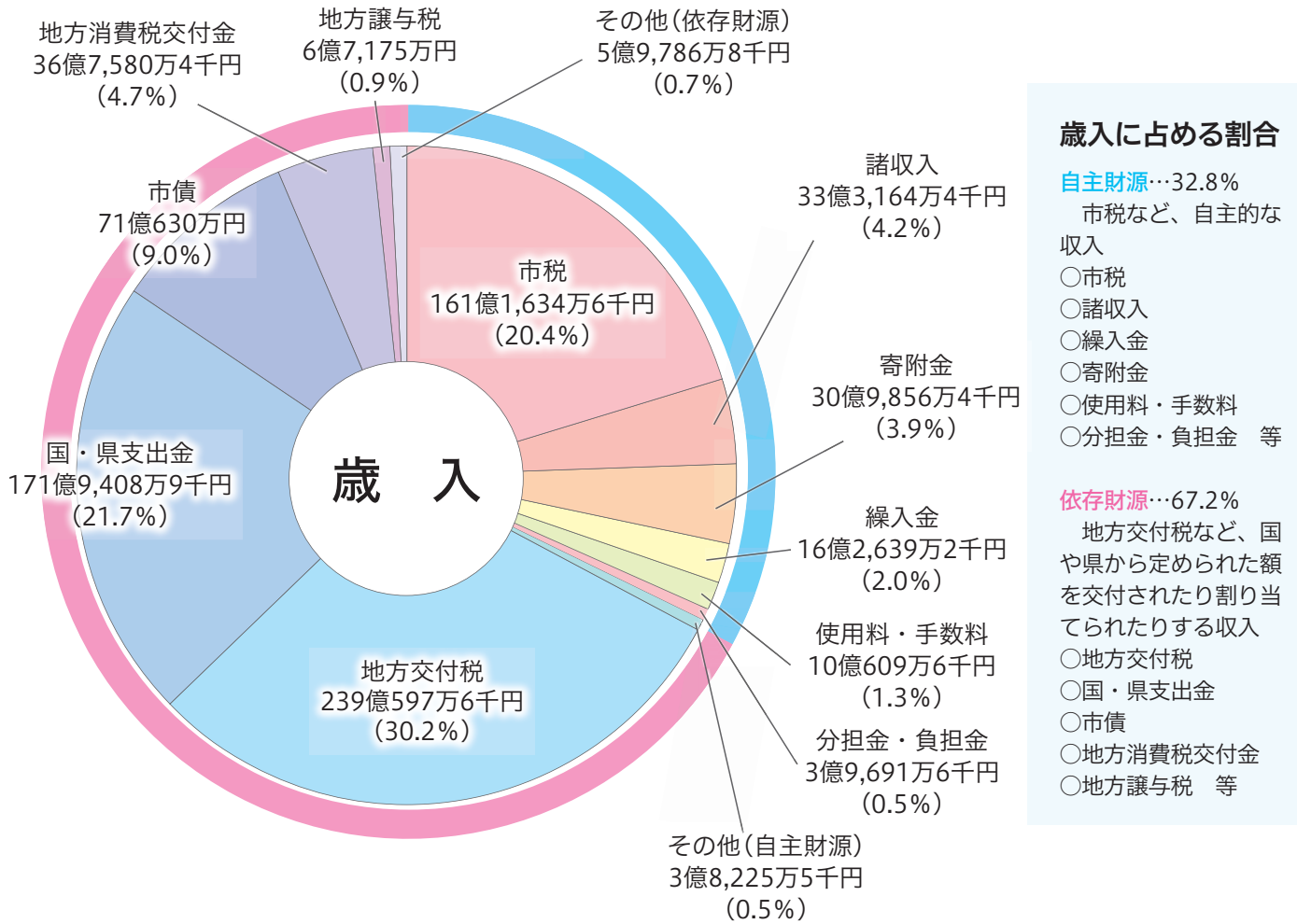


鶴岡市長
佐藤 聡

目次

- P 2 一般会計予算額（グラフ）
- P 4 重点的な取り組み／拡充事業
- P 6 その他の重要事業
- P 8 財政状況をグラフで紹介します

791.1億円 (対前年度比 -2.1%)



歳入に占める割合

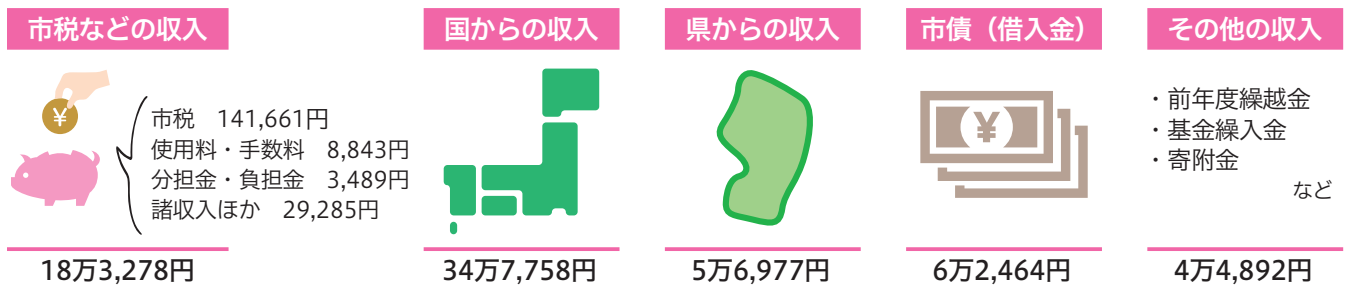
自主財源…32.8%
市税など、自主的な収入

- 市税
- 諸収入
- 繰入金
- 寄附金
- 使用料・手数料
- 分担金・負担金 等

依存財源…67.2%

- 地方交付税など、国や県から定められた額を交付されたり割り当てられたりする収入
- 地方交付税
 - 国・県支出金
 - 市債
 - 地方消費税交付金
 - 地方譲与税 等

歳入額を市民1人あたりに換算すると 69万5,369円



※令和8年3月31日現在の人口：113,767人で算出

- 市税…市民が市に納める税金(市民税、固定資産税、軽自動車税、市たばこ税、入湯税、都市計画税など)
- 地方交付税…所得税など国が徴収した税金の中から市の財政状況に応じて交付されるお金
- 国・県支出金…特定の事務・事業についての財源として、国や県から交付されるお金
- 市債…建設事業や財政対策などを行うため、金融機関などから借り入れるお金

- 繰入金…特定の事業のために積み立てたお金(基金)などから繰り入れるお金
- 分担金・負担金…特定の利益を受けた人から負担してもらおうお金
- 地方消費税交付金…消費税の一部が人口と従業者数に応じて交付されるお金
- 地方譲与税…国が徴収した自動車重量税などから配分されるお金

一般会計予算額

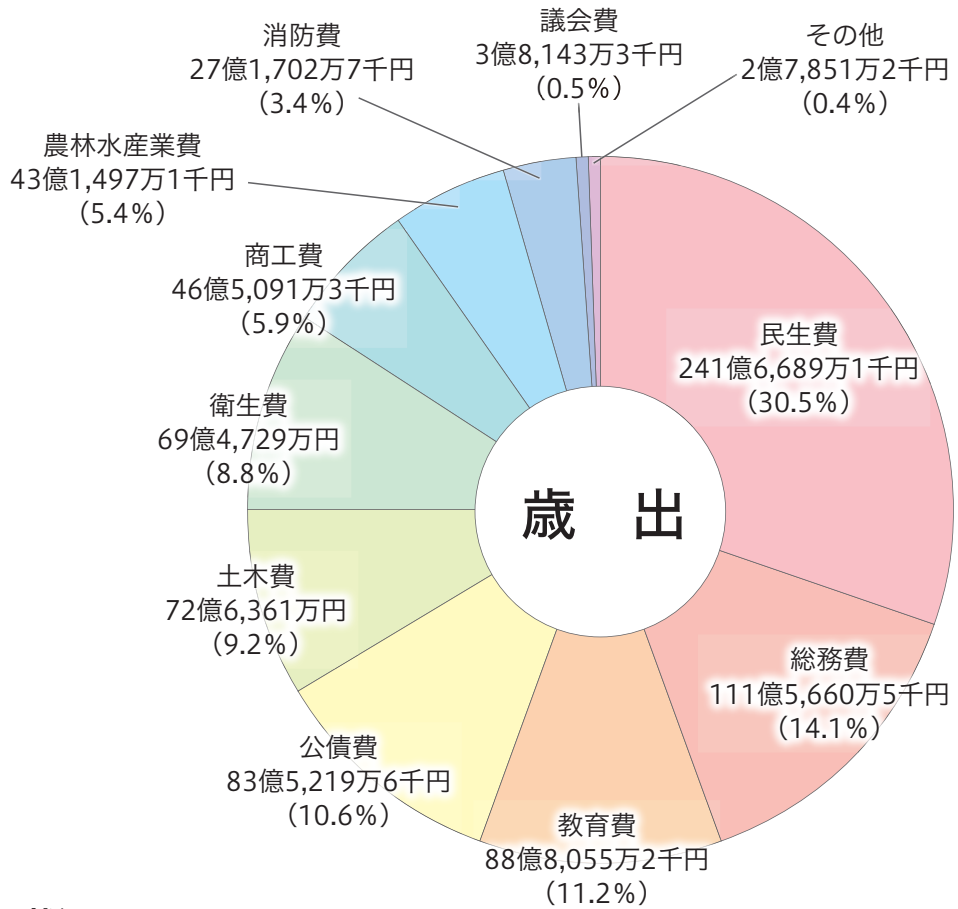
歳出に占める割合

消費的経費…66.2%
 物件費や補助費など、
 後年に形を残さずに消
 費される性質のお金

投資的経費…12.5%
 建設事業などのよう
 に、社会資本として将
 来に残るものに使われ
 る性質のお金

その他…21.3%












歳出全体の内
 義務的経費…45.9%
 人件費や扶助費、公
 債費のように、支出が
 義務付けられ、任意に
 節減できないお金



前年度と比べた歳出の状況

- 民生費…4億924万3千円の増
- 総務費…16億1,687万円の減
- 教育費…4億6,278万4千円の増
- 公債費…1億367万5千円の増
- 土木費…1億6,070万2千円の減
- 衛生費…6億1,456万6千円の増
- 商工費…13億3,053万2千円の減
- 農林水産業費…3億6,591万9千円の増
- 消防費…4億9,007万2千円の減
- 議会費…5,800万2千円の減
- その他（災害復旧費、労働費等）…3,999万1千円の増

歳出額を市民1人あたりに換算すると 69万5,369円

民生費 福祉や保育などのためのお金  21万2,425円	総務費 課税・納税、職員管理、企画などのためのお金  9万8,065円	教育費 教育などのためのお金  7万8,059円	公債費 借金返済に充てるお金  7万3,415円	土木費 道路や橋の建設などのためのお金  6万3,846円	衛生費 健康増進やごみ処理などのためのお金  6万1,066円
商工費 商工業や観光の振興のためのお金  4万881円	農林水産業費 農林水産業の振興のためのお金  3万7,928円	消防費 消防や救急、救助活動などのためのお金  2万3,883円	議会費 市議会の運営のためのお金  3,353円	その他（災害復旧費・労働費等） 災害復旧費…自然災害の復旧工事のためのお金 労働費…雇用対策などのためのお金  2,448円	

鶴岡市の重点的な取り組み

子育て支援を充実させます

子育て世代の経済的負担を軽減し、子供を産み育てやすい環境づくりを進めます。

● 0歳～2歳児の保育料の完全無償化

1億2,212万円

現在の保育の無償化制度には所得制限があり、無償化の対象にならない児童がいます。

令和8年9月から、保護者の所得に関係なく、全ての児童の保育料を無償化します。

● 5歳児健康診査を新たに実施

438万円

現在実施している4か月児や3歳児の健康診査等に加え、子供の特性を就学前に把握し、適切な支援を行えるよう5歳児健康診査を実施します。

国が令和10年度までに全市町村での実施を目指している健診を、本市では早期に実施します。



● プレーパークの整備

7,184万円

旧朝陽二小跡地にプレーパークを整備し、子供・若者が自分らしくいられる場所、保護者が安心して子育てできる居場所を作ります。

令和11年の開園を目指します。

鳥獣害対策を拡充します

社会的な課題となっているクマやイノシシの出没に対応するため、鳥獣害安全対策室を新設し、関係各所と連携しながら安全な生活環境作りを推進します。

● 現場で対応する隊員の報酬を拡充

749万円 (387万円の増)

今まで単一単価だったクマ出没対応の活動報酬を、活動内容の危険性などを踏まえた報酬単価に見直します。

● 箱わな等の購入助成を拡充

979万円 (257万円の増)

農業協同組合・猟友会・行政機関などで構成する鳥獣被害防止対策協議会に対し、箱わな等の購入の支援や、捕獲報酬単価の見直しなどを行います。

● 電気柵設置の補助金を拡充

1,086万円 (726万円の増)

農作物被害防止のため、電気柵設置に必要な機材購入費の支援を強化します。

● 市街地出没への対策

504万円 (478万円の増)

鳥獣の市街地出没を抑制するため、不要果樹の伐採などの環境整備費の支援を強化します。

● スクールバスの運行期間を延長

5,016万円

現在、冬季の通学支援・夏季の熱中症防止対策として行っているスクールバスの運行を、野生動物出没対策として秋季も行います。



▲クマ外傷に対する連携講演会 (荘内病院)

令和8年度の New! 拡充事業

ハザードマップの更新とデジタル化

2,870 万円

- ▶水防法改正等に伴い、ハザードマップの作成・更新を行うとともにデジタル化を進めます。

園芸作物の生産拡大を支援

449 万円

- ▶メロンつる割れ病対策やさくらんぼ結実確保への支援を行います。

新たな産業団地の造成工事

10 億 9,258 万円

- ▶令和9年度中への分譲開始に向け、西工業団地周辺に新たな産業団地の造成工事等を進めます。



▲新たな産業団地（完成イメージ）

タクシー利用者の利便性を向上

420 万円

- ▶夜間のタクシー供給を確保し、地域経済を活性化させるため、遠隔点呼システムや配車アプリの導入を支援します。

緊急搬送同行者の帰宅を支援

730 万円

- ▶深夜や早朝の緊急搬送に同行した施設職員や家族等の移動手段を確保するため、運転手や運行管理者の人件費に補助します。

スマート市役所を推進

950 万円

- ▶生成AI等のデジタル技術を活用し、市民窓口や庁内事務の効率化を図ります。

物価高騰等への対応

3 億 8,930 万円

- ▶水道料金の基本料金を、令和8年9月から6か月間減免します。標準家庭で計6,600円が減免されます。

※令和7年12月の生活応援商品券と合わせると、1世帯1万円を超える支援となります

災害情報の伝達手段を強化

1,095 万円

- ▶防災行政無線の音声放送内容をスマートフォンアプリで配信するシステムを新たに導入します。聞き直しが可能になります。

「山形庄内」夏の観光キャンペーン

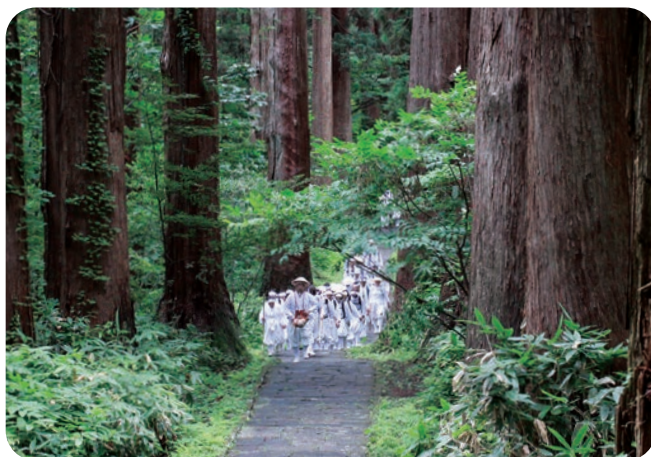
999 万円

- ▶7月～9月に展開されるJR東日本の観光キャンペーンに向けて、DEGAM鶴岡ツーリズムビューロー・観光協会等を支援します。

羽黒山午歳御縁年の誘客

218 万円

- ▶午歳御縁年を契機に、羽黒山周辺エリアの知名度向上や誘客促進に向けた支援を行います。



▲羽黒山午歳御縁年での誘客支援

観光二次交通を充実

800 万円

- ▶外国人をはじめとする旅行者の二次交通として、鶴岡駅から日本遺産（羽黒山・湯殿山・松ヶ岡開墾場）行きの予約制ハイヤーを運行します。

①暮らし・防災

県外からの高校入学を支援 189万円

- ▶全国から入学者を募る「地域みらい留学」に参画する加茂水産高校を支援

コンポスト化施設を整備

16億5,185万円

- ▶令和9年度の稼働に向け、浄化センター敷地内に汚泥の資源化（コンポスト化）施設の整備工事を実施

放課後の子供の居場所作り

1億7,742万円

- ▶第三学区放課後児童クラブの施設整備を実施

③学び・交流

人工芝グラウンドを整備

9億3,808万円

- ▶令和9年度の供用開始に向け、黄金地区で人工芝グラウンド（サッカー・バスケットボール等）の整備工事を実施

教育環境の整備・拡充 1億923万円

- ▶藤島地域義務教育学校の整備に向け、基本計画・基本設計を策定
- ▶教育支援センターでの相談や体験学習を充実、非課税世帯等にフリースクール利用料を助成

農業を支える人材を育成

4,373万円

- ▶SEADS（シーズ）研修生の就農から営農定着までをサポートし、農業の担い手育成を支援

⑤商工・観光

研究成果を活用して新産業を創出

5億6,596万円

- ▶国立がん研究センター・慶應先端研と連携した医療系ベンチャー企業の立ち上げや、研究成果の事業化を県と協調して支援
- ▶ガストロノミックイノベーションを主導する研究開発拠点の構築と、産業創出に向けた研究開発力強化・専門人材育成を支援

その他の主要事業

コミュニティセンターを整備

8,140万円

- ▶第二学区コミュニティセンターの旧朝暘二小跡地への移転改築に向けた実施設計

豪雪地域の雪下ろしを支援 300万円

- ▶屋根の雪下ろしを3回以上業者に委託した世帯へ補助金を交付

②福祉・医療

医療的ケア児を支援 2,177万円

- ▶常時看護が必要な医療的ケア児に対し、看護サービス利用の拡大や訪問入浴などを支援

生活課題を抱える方を支援

2,979万円

- ▶高齢・障害・引きこもりなど複雑な生活課題を抱える方に対して、専門機関が連携して支援

出羽庄内国際村を活用した国際交流

1,000万円

- ▶リニューアルした出羽庄内国際村で、国内外のユネスコ創造都市等との交流イベントを実施

④農・林・水産業

松くい虫の防除対策 1億1,461万円

- ▶市内沿岸部で深刻化している松枯れ被害に対して、伐倒駆除や植林を支援

水産業の設備投資を支援

2,050万円

- ▶マグロ釣り機や高性能プロペラ等、獲れる魚の変化や省エネ化等に対応する設備導入を支援

観光誘客の促進

783万円

- ▶加茂水族館リニューアル等観光資源を生かした首都圏向けプロモーションを実施

中小企業の競争力を強化

3,000万円

- ▶市内中小企業の生産性向上・新製品開発・新分野展開などを支援

⑥社会の基盤整備

中心市街地を活性化 2,074 万円

▶ 中心市街地将来ビジョンに掲げる「ありたいまちの将来の姿」の実現に向け、商店街での社会実験やフリースペースの運営などの施策を推進

公園の整備・改修 1 億 1,000 万円

▶ 温海公園の改修工事をはじめ、老朽化した公園遊具・トイレの計画的な改修整備

道の駅あつみの移転整備

14 億 1,526 万円

▶ 令和 9 年度の鼠ヶ関地区での開業に向け、本体建設工事と隣接する親水広場を整備

空き家の相談や利活用を支援

2,307 万円

▶ つるおかランド・バンクによる空き家相談会の開催や利活用業務を支援

⑦地域の振興

鶴岡地域 1,014 万円

▶ 広域コミュニティ組織による住民主体の持続可能なまちづくり事業への支援



藤島地域 430 万円

▶ 藤島歴史公園Hisu花のイルミネーション設置やイベントの開催によるにぎわい創出



羽黒地域 885 万円

▶ 手向地区の街並みや景観・歴史に配慮したまちづくりを、産・官・学・民が連携し推進



櫛引地域 476 万円

▶ 樹園地継承と果樹農家の営農継続への取り組みの推進による果樹産地の維持拡大



朝日地域 650 万円

▶ かたくり温泉ばんぼを活用した健康増進・交流促進の取り組みを支援



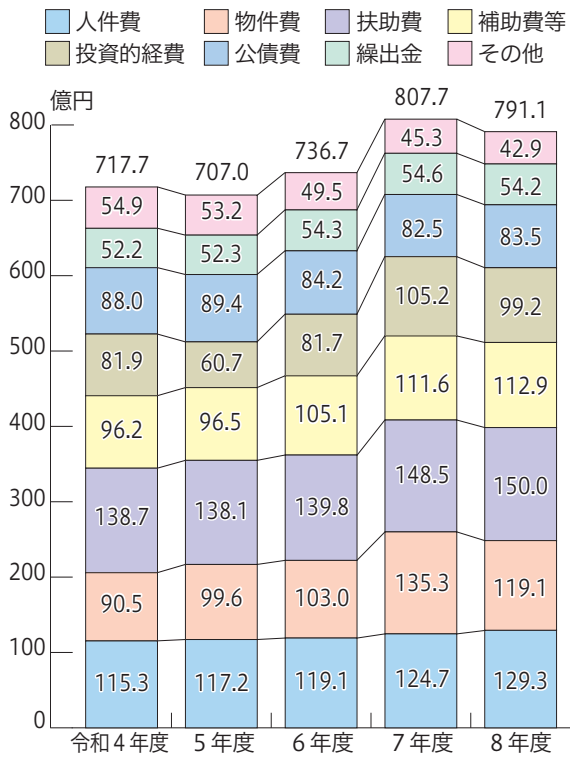
温海地域 384 万円

▶ 道の駅あつみ移転に向け、地元農水産物を活用した特産品開発の支援とPR強化



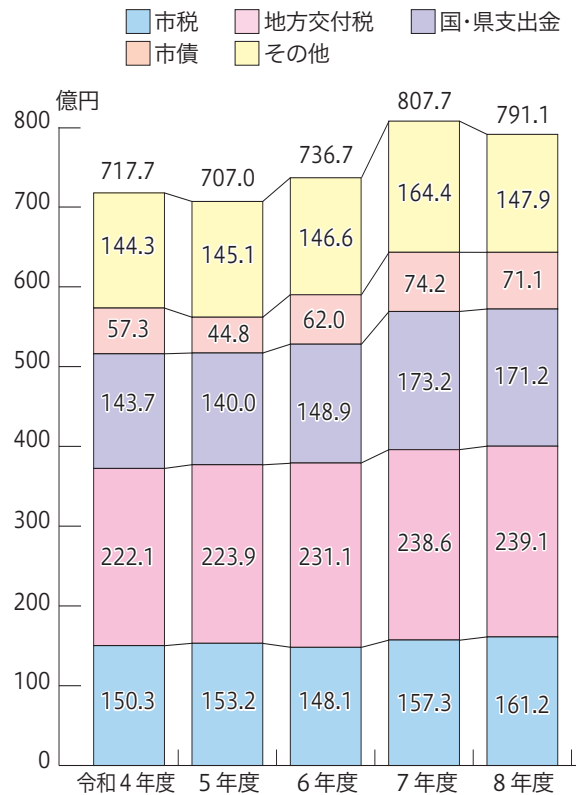
市の財政状況をグラフで紹介します

一般会計歳出の構成別推移

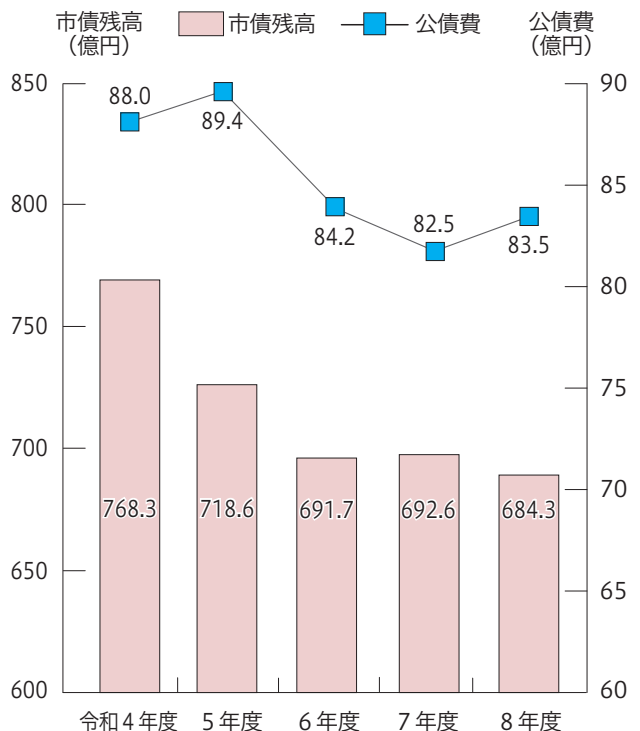


- 人件費…職員の給料、議員や委員の報酬など
- 物件費…消耗品や備品の購入費用、光熱水費、施設の管理委託料など
- 扶助費…生活保護費や保育園の委託料、乳児や重度身体障害者への医療給付費など福祉のためのお金
- 補助費等…各種団体や病院・上下水道事業に対する負担金や補助金など
- 投資的経費…道路、橋、学校など公共施設の建設経費
- 公債費…借金の返済に充てるお金
- 繰出金…介護保険などの給付費に対して、一般会計で負担するお金

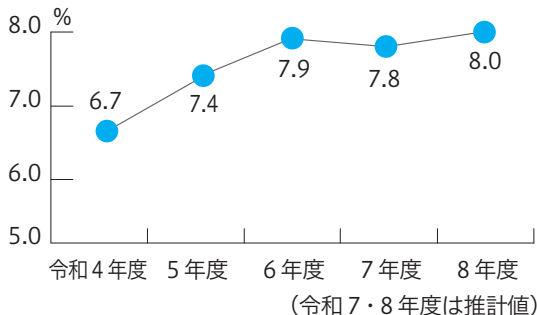
一般会計歳入の構成別推移



市債残高と公債費の推移



実質公債費比率の状況



- 実質公債費比率…公債費や公営企業への繰出金などを含めた実質的な公債費相当額が、標準財政規模に占める割合を、3か年平均で表した指標。この比率が18%以上になると市債の発行に県の許可が必要となり、25%以上になると、市債の発行が制限される

